

若廣安二年

公儀より普く觸ふしむる所事ことの  
何方どこよりともさそはれりて後のちは  
事たる處ところはとも兼あり隔へりしは  
今いまの如ごとく人もさそはるる處ところは  
有あるは成なり此こゝに沙さ汰たをなれは  
改かむ支配し配はい所ところ百姓ひやくしやうとも相あ論ろんしむる

村々むらむらに屋や組ぐみ段だんより小こ百姓ひやくしやうをてこの名  
をそつて物もの々々急いそぐたう面めん能のう力りき  
りち農業のうぎやう精せい出でしは未また  
年とし抽ひくはぬ時ときはりとも法は年ねん貢くわん  
滞とどりちる家か族ぞくも宗そう族ぞくより  
くは但た箇か條じょうの中なかは富ふを色いろあり  
以上いじやう持もつけは殆たいていどの儀ぎに  
中ちゆうより